

項目	意見要旨	該当ページ	市の考え方
全体	少子高齢化に関する記述が薄い。高齢者が暮らしやすいまちにするためにはどうしたらいいのか入れるべきではないか。	P20,21	【意見を反映する】 「めざすまちの姿」にめざすまちのイメージを具体的に記載します。また、全体を通して、人々の暮らし等がイメージできる表現に改めます。
	「良好な住環境」とはどのようなものか、具体的に記載すべきである。		
	尼崎らしさをアピールする、出し方を考えてほしい。		
	「どんなまちにするのか、どんな住まい方をするのか」といった視点が希薄である。		
	人が暮らしている息遣いがイメージできない。		
	生活者の視点から何が必要で、都市計画、土地利用の誘導という視点の中でどのように記述するか検討してほしい。		
	土地利用を中心にしながらも、生活に関する視点も入れていく必要がある。どのように土地利用と生活を融合させていくかといった視点を各所に入れてほしい。		
	もう少し積極性と戦略がほしい。	P20,21	今回の見直しでは、これまでの「つくる」ことから、「活かし、守り、育てていく」考え方に換えており、今あるものの質的充足に力を入れることで本市の魅力を上げ、人口・産業の転入、定着や産業の活性化に取り組むことを方針として掲げています。
	人口減少によりゆとりある生活空間が持てるともいえる。ネガティブではなく、ポジティブにとらえたメッセージを盛込んでほしい。	P4,P28	人口については、年齢構成のバランスに配慮することを重視する考え方であり、「ゆとりある住宅地の形成」に向けた考え方を示しています。
序章	「住民」と「市民」は使い分ける必要があるのではなか。	P2	【意見を反映する】 2ページの「(4)住民の理解と参加」は「市民」に訂正します。
今後のまちづくりの視点	人口減少に対応したまちづくりとは、ハード面について縮小していくことなのか。	P4	今回、目標人口の設定はしていませんが、全国的に人口減少が想定されますので、その減少が緩やかになるよう、本市の利便性を活かした住みよい環境、美しいまちなみの形成などに取り組むことで、現役世代の定住・転入を促進するよう対策を示しています。
	素案たたき台では「ユニバーサル社会」と表現していたが、P.5の『ストックを活かしたまちづくり』では「ユニバーサルデザインへの対応」となっている。変えた理由は何か。	P5,P20	【意見を反映する】 ユニバーサル社会への対応という方向性は変えておりません。『ストックを活かしたまちづくり』では、都市施設や公共建築物の有効活用について記載しているため、ユニバーサルデザインという表現を用いているものです。 全体を通して、表現を整理します。
	地域の声をどう吸い上げていくかという手段について記述がない。	P76 ～ P78	都市計画マスタープラン及び本市のまちづくりに関する情報の周知を行うとともに、市民がまちづくりについて学ぶ場を設け、関心をもってもらうところから始め、これらの活動を通じ地域の声を集約していきたいと考えています。

項目	意見要旨	該当ページ	市の考え方
まちづくりの本方針の基	拠点以外の駅周辺はどのような考えなのか。尼崎の財産として活用することが必要ではないか。	P23	【意見を反映する】 拠点以外の鉄道駅周辺について、考え方を追加します。
	都市構造のとらえ方やまちの将来像としてどのようにしていくか、引き続き検討してほしい。	-	既にあるストックを活かし質を上げるということが今回の都市構造の考え方です。
土地利用	写真の並べ方と見出しのつけ方にメッセージ性・意図が感じられない。もう少しはっきりさせた方がよい。	P27	【意見を反映する】 分かりやすいように並べ方、見出しを修正します。
	地域の商店街に関する市としての対応の記述が少ない。	P28 P29	市場、商店街、スーパーといった活動形態別に方針を掲げるのではなく、土地利用の面から駅周辺、近隣型、沿道型に区分し、地域に密着した商業機能の充実などの考え方を示しています。また、本市では「商業立地ガイドライン」に基づき、地域特性に配慮した小売店舗の規制・誘導を行っているところです。更に、地区計画や特別用途地区により建築物の用途制限を定め、商業環境の保全・誘導を行う取組も進めているところです。利用者の利便向上に向け、今後もこうした取組を進めてまいります。
	市場の位置づけなどは都市計画で対応できるのではないか。		
	高齢者は、日常買い物をどこでするのかということを考え、沿道型商業地の是非も含めて市場や商店街をどうしていくのか、商業についてもう少し言及してもいいのではないか。		
	業務施設の集積や誘導方策についての記載が少ない。		
	これまでは住工分離、用途純化を目指して取り組んできたが、近年は住工混在の方向に進んでいる。その辺りに関する記述はないのか。	P30, P32	30ページに工場跡地で住宅の進出が多い内陸部工業地の現況・課題を、32ページには操業環境の維持保全を基本とする土地利用誘導方針を示しています。
	工業は尼崎を支える産業基盤なので尼崎としてどう対応していくのか、都市基盤整備を検討するなど、立地優位性を最大限に活かす、高める工夫が必要ではないか。	P30,32	内陸部工業地については、土地利用誘導指針に基づき操業環境の維持・保全、住宅との共存を図り、臨海部については、道路ネットワークの強化も含めた良好な操業環境を保全します。
	森永工場跡地の大規模開発により子育て層が増え、小学校や校区の問題が発生しています。こうした観点からの記述はないのか。	P33	工場跡地において大規模な土地利用転換が見込まれる場合の対応について記載していますが、小学校の問題等については、校区の変更などによる対応が基本になると考えており、適正規模化という視点を基に検討していきます。
空き地や空き店舗の対策は難しいが、その有効活用を図る対応策について記載してほしい。	-	空き店舗の対応については、空き店舗を活用して新規に開業する個人事業主に対して、その経費の一部を補助しているなど、その解消に向けた取り組みを行っているほか、空き地については、住環境整備条例により適正管理を指導していますが、有効活用等本計画への記載については困難と考えていますが、別途検討する必要があります。	
都市交通	放置自転車については「民間事業者と協力して～」となっているが、自転車駐車場の整備を加速していく表現にしてほしい。	P43	【意見を反映する】 放置自転車対策について「自転車駐車場の整備を促進します」を「推進します」に改めます。

項目	意見要旨	該当ページ	市の考え方
市街地整備	密集市街地はまだ改善の余地がある。この10年間でどうしているのか。	P49	現在、密集市街地の中でも特に危険度の高い重点密集市街地について、防災街区整備地区計画を策定する取組を進めています。今後は、その他の密集市街地についても地元の意向を踏まえながら同様の取組を進めたいと考えています。
まちづくりの推進	コラムの二つ目は「安全」ではなく「安心」の方が意味合いも広くなり、良いのではないか。	P78	【意見を反映する】 ご指摘のとおり、表現を改めます。
	フロー図で市民と事業者が一緒になっているが、役割は微妙に異なるはずである。市民には町会や社協があるが、事業者は個別に意見を吸い上げるのが困難である。どういう連携の仕方を想定しているのか。	P79	フローの内容では重なる部分が多く、分けることは考えていませんが、事業者とのアプローチについては、商工会議所など既存の団体に対し都市マスの周知を行い、協力をよびかけることを考えています。
	「PDCAサイクル」という表現は市民にはなじみがないので、用語説明を追加してほしい。	別添	【意見を反映する】 用語説明に追加します。
	PDCAには、業務ベースで行うものと市民参加で行うものがあるので、2つを分けて、適宜ではなくきちんと評価の時期を決めておく方が良い。	P80	【意見を反映する】 毎年実施する事務事業ベースのPDCAは庁内において業務ベースで行い、中間見直し及び10年後の見直しで行うPDCAは市民の参加を想定して実施する考え方がわかるよう修正します。
	5年に1回の見直しは、少し長いように思う。	P80	進捗状況の点検は毎年実施しますので、その中で状況に応じ、部分修正を含め適正に対処することを考えています。
	都市計画マスタープランで描いたものの実効性をどのように担保していくか、市としてどう推進するか整理が必要である。	P81	【意見を反映する】 現在見直し作業を進めている部門別計画(緑の基本計画、都市計画道路網の見直し、地域防災計画、環境基本計画等)とは相互に調整しながら作業を進めており、今回の都市計画マスタープランの内容が反映されたものとなっています。今後も、関連計画については調整しながら作業を進めます。 施策単位としては総合計画において目標値を設定しており、事業単位としては事務事業評価において目標値を設定しているため、これらの指標を参考に進捗状況を把握する考えであり、都市計画マスタープランにおいて目標値の設定はしません。 また、総合計画で設定している指標と本計画のめざす姿との関係について、追記します。
	時間軸、目標を設定すべきではないか。目標がないと、進捗の管理ができないし、次のステップとして何をすべきなのかがわからない。		
	評価をするには目標設定が必要である。		
	計画の推進に際しては、職員個人ではなく、組織としてどう連携して実現していくかを検討してほしい。	-	今後、組織間の連携、事業進捗の把握の方法について検討します。
	まちづくりにはハードとソフトがある。都市計画はハードの部分だが、福祉等の分野との横の連携はどのようにしていくのか。	-	土地利用委員会(局長級)や庁内検討会議(課長級)での横断的な庁内調整を行い、関連する分野との連携を図り見直し作業を進めています。

項目	意見要旨	該当ページ	市の考え方
地域別まちづくり	「時間軸」と「優先度」の設定がないのはなぜか。いつ整備されるのか、目標期間等がある方が市民向けとしては親切である。	P86,100,114,128	都市計画マスタープランは基本的な方針を示すものであり、どのような時期にどのような事業をどのような順番で実現していくかは、関連する他の計画において示すことになります。
	「私たちができること」というコラムは具体性がなく、スローガンの内容となっている。市民が活動する際に使える制度の紹介や、実際に活動をしている団体の紹介を掲載した方が良いのではないか。	P86,100,114,128	【意見を反映する】 具体的な制度については変更の可能性があるため、参考資料として記載する予定です。また、市民・事業者の活動については、各地域別まちづくりの2ページ目で一部を紹介しており、更に詳しい内容については、資料編に掲載する予定です。
	この地域区分では、日常の暮らし、生活圏のイメージがとらえづらい。特に高齢者にとっては馴染みがない。	P84	地域区分は、幹線道路、河川などの地形地物を基本に、土地利用(用途地域)など都市計画的な観点から設定したものです。行政区や小学校区を基本として地域住民を主体としたまちづくり活動が行われており、具体的な施策については、こうした地域コミュニティを基礎生活の単位として考える必要があります。
	グラフの数値がおかしい(農地)	P83	【意見を反映する】 修正します。
	県立病院の移転に伴って、搬送路の確保など関連した道路整備などの記述は必要ないのか。また、跡地の活用についての記載はないのか。	-	県立病院については、計画内容が確定し工事着手しており、搬送路については、既存の五合橋線(幅員18m、4車線)で対応可能と考えています。また、跡地利用については、土地を所有している県と市が調整しながら、周辺環境とも調和した適切な活用の検討を進めていく考えです。
	城址公園は「広域拠点にふさわしい公園として整備」するのではなく、「歴史性を重視した史跡として整備」するのではないか。	P121	【意見を反映する】 ご意見を受けて、「歴史的建築物が多い地域であることを踏まえ、周辺と調和した」の文言に修正します。
現 評 価 計 画	計画期間内に改定する理由は、現行計画のどこに問題があって、どういう状況の変化によって必要となったのか。また、現行計画の評価・総括は行ったのか。	-	素案たたき台を公表する際、現行の都市計画マスタープランの評価を行い、本審議会にも報告しております。当時の資料を配付します。
その他	関係課も都市計画審議会に出席する必要があるのではないか。	-	今後も、前回と同様、必要に応じて関係課に出席を求めます。また、出席していない関係課に対しては、庁内の検討会議等を使いながら連携、情報を共有していきます。
	公共下水道の整備率はほぼ100%だが、先日の豪雨により、多数の箇所が浸水した。これまでも同様の降雨があったがこれほど浸水したことはない。どのような原因によるものと考えているか。	-	近年の主な浸水被害は、平成11年6月と平成18年8月に発生しています。平成11年6月は、本市西南部に1時間当たり79mm、平成18年8月は、北東部に1時間当たり88mmの降雨があり、雨水の排水能力を超える大雨であったことからそれぞれの地域で床上・床下浸水が発生しました。 これに対して、今回の8月25日の集中豪雨については、本市のほぼ全域で現在の下水道整備水準である6年確率降雨を超える大雨が観測されており、浸水被害も市域のほぼ全域の各所で発生したものと考えられます。また、側溝などのごみ等のつまりにより部分的な道路冠水が発生したものと考えています。

第7回都市計画審議会(事前説明時)での委員意見と市の考え方

項目	意見要旨	該当ページ	市の考え方
はじめに	1段落の3行目、「その将来像～都市計画です。」の「その」がおかしい。都市をつくることだという意味合いが出るように、「都市の将来像」としてはどうか。	はじめに	【意見を反映する】 ご指摘のとおり修正します。
今後のまちづくりの視点	将来推計人口については、単に人口が減少しているということだけではなく、世帯数は増加しており、世帯構成が変わっていることも併せて書いておいたほうが良い。	P4	【意見を反映する】 将来推計人口のグラフに世帯数の状況を加え、世帯数は増加しており家族構成が変化していることを文章に追加します。
	2段落目「取り入れることで…挙げられます」文章がおかしい。	P8	【意見を反映する】 該当部分の文章表現を修正します。
	P7とP8とで 部分のトーンが異なる。NPOについて、用語説明であれば用語集に書けばいいと思うが、伝えたい内容があるのであれば、例えばタイトルを「役割が増すNPO」にするとか、文章に「今後のまちづくりの主体として期待されます」を追加するなどしてはどうか。	P8	【意見を反映する】 説明文のタイトルを、「NPO」から「新しい公共の担い手として期待されるNPO」に改めます。
市の概況	事業所内訳のグラフは、何が言いたいのかよくわからない。構成比が変わっているということを伝えたいのであれば、パーセントのグラフにしてはどうか。	P15	【意見を反映する】 事業所内訳のグラフをパーセント表示にし、それにあわせ文章を修正します。
	製造品出荷額については、日本全体、兵庫県全体でみた場合と比べて、尼崎はどうか比較してみてもどうか。	P16	【意見を反映する】 製造品出荷額のグラフを、全国や兵庫県と比較するグラフに変更し、文章を修正します。
まちづくりの針本	4の「多くの人々が訪れなくなる、活力ある」のところは、「住み続けられる」ではないのか。	P21	産業については、交流人口の視点が重要と考えていますので、原案どおりとします。「住み続けられる」という部分については、P20の2に記載しています。
市街地整備	JR立花駅南の写真が建物が曲がって見える。	P46	【意見を反映する】 JR立花駅南の写真を差し換えます。
都市防災	BCPの説明は、用語集でいいのではないか。	P70	【意見を反映する】 コラム内の「BCP」の説明を削除し、用語説明集に記載します。
まちづくりの推進	PDCAは一番最後(地域別のあと)でもいいのではないか。都市計画マスタープランと事業が常に関連付けられるようきちんと進捗点検をしてほしい。	P80	全体の方針に対する進め方を先に示し、具体的な地域別まちづくりについて示すという流れになっています。
	目標については、区域マスタープランもあるが、庁内のものさしづくり、評価の仕組みづくりもしてほしい。本編でなく別冊でも構わないと思う。	P80	【意見を反映する】 今後、事業進捗の把握の方法をまちづくり情報の共有と併せて検討します。